

**KAGAWA
STARTUP
FESTA**2025
9.14-9.15

かがわスタートアップフェスタ2025
開催報告

かがわスタートアップフェスタ2025 開催概要

開催期日

2025年9月14日（日）、15日（月・祝）

かがわスタートアップフェスタ2025のコンセプト ～スタートアップと描く香川の未来～

独自性ある製品やサービスで、社会課題の解決やより良い社会づくりに挑戦している起業家やスタートアップに光をあて、未来の香川を考える場とするとともに、人にやさしい社会やSDGsな社会の実現に向けては、スタートアップとの連携や支援という手法があることを提案する。

会場

サンポート高松 高松シンボルタワー 「展示場」ほか



開催コンテンツ

【9月14日（日）】

香川県ビジネスチャレンジコンペ2025 最終審査&表彰式

【9月15日（月・祝）】

A	展示場
1	スタートアップ等のPRブース、インタビュー
2	廃棄うどんのアップサイクル展示
3	「勇者ファイバリオン」操作体験
4	次世代型感覚デバイス「SYNCREO」装着体験
5	宇宙開発に応用される折り紙の技術ワークショップ
B	デックスガレリア
1	スタートアップのロボット展示、デモンストレーション
2	新技術を使った冷凍フルーツ販売
3	スプレーアート体験教室
4	香川高専/大手前高松中・高ダンス部パフォーマンス
5	漫才コンビ「二者面談」スタートアップ漫才
6	トークセッション「私が起業するって言ったら？」
C	市民ギャラリー・コミュニケーションプラザ
1	ものづくりワークショップ
2	レゴでつくる簡単ロボット教室
D	情報通信交流館
1	子ども向けプログラミング教室
E	多目的広場
1	キッチンカー出店
2	円座小学校金管バンド部演奏

DAY1 9月14日(日) 香川県ビジネスチャレンジコンペ2025

オープニング

フェスタの開催にあたり、展示場のステージでオープニングを実施しました。

オープニングでは、香川県産業AI参与を務める東京大学大学院 松尾豊教授から頂いた、心強いビデオメッセージを放映しました。



【メッセージから一部をご紹介】

AI技術の急速な進化により、これからあらゆる産業がAIロボットによって変わっていく。新技術の社会実装には、スタートアップの役割は極めて重要である。

その一方で、スタートアップは簡単ではない。起業をするという意思決定をするだけでも大変で、そこから数多くの困難を乗り越えて、事業を成長させていかなければならない。

困難を乗り越えていくためには、コミュニティを形成して互いに切磋琢磨して支えあうことが必要であり、「かがわスタートアップフェスタ」を通して起業家を支援していくことは、大変重要な取り組み。こうした取り組みを通して、起業する人の数も増え、周囲の理解も高まっていく。このフェスタに参加している皆様は、ぜひ、起業家を応援してほしい。

学生や若い世代にとっても、スタートアップで挑戦するということには大きな意義がある。私の研究室の学生たちも、スタートアップを立ち上げたり、先輩や仲間が起業したスタートアップに入社する、というのが当たり前の選択肢になっている。そういった時代の流れも視野に入れ、将来にっなげてもらいたい。

香川県ビジネスチャレンジコンペ2025

続いて、「香川県ビジネスチャレンジコンペ2025」の最終選考を実施しました。冒頭に、昨年度受賞者 DO・CHANGE 株式会社の岸本代表取締役から、事業の進捗報告を兼ねて、オープニングピッチを行っていただきました。



DO・CHANGE (株) は、アフリカで起こっている「電子ゴミの野焼きによる大気汚染や健康被害」という世界的な社会課題に、香川発の「被覆廃線から有価金属を取り出す特許技術」を用いて立ち向かうスタートアップです。

昨年度の受賞後には、ケニア・ガーナに渡航し、リサイクル銅の売却実証や、現地NPO法人との連携強化を行っており、金属のリサイクルだけではなく、廃棄衣料のアップサイクル事業という新しいビジネスの種も生まれているとのことでした。

社名のとおり、「DO・CHANGE -やれば、変わる!」を掲げて、世界で活躍する岸本さんの話は大変興味深く、起業間もない方や、起業を検討されている方にとって、とても勇気づけられる内容でした。

その後、書類選考を通過した6者が、最大500万円の補助金獲得を目指して、公開プレゼンテーションに挑みました。

今回のコンペでは、少子高齢化や、空き家問題、環境問題等の社会課題を解決しようとするプランから、高付加価値のゲーミングPCの展開や、ロケットエンジンの開発を行うプランなど、バラエティに富んだ、香川の未来を切り拓くビジネスプランが集結しました。

※ 当日の様子は、香川県産業政策課のYouTubeチャンネル [URL https://www.youtube.com/channel/UCiRT-snif1BJmF0r9pXr8gw](https://www.youtube.com/channel/UCiRT-snif1BJmF0r9pXr8gw)で公開します。



①株式会社スペースボア
「ロケットエンジン開発事業、宇宙教育推進事業」



②株式会社Zen
「空き家を地域の宝へ。人と島を循環でつなぎ、次世代に誇れる瀬戸内を創造。」



③株式会社永光
「地域に貢献しSDGsな廃瓦リサイクル製品の製造販売」



④株式会社モーリス
「少子化に挑む！乳幼児見守りシステム」



⑤株式会社グイ
「テレワークできる！シングルマザーをITエンジニアに！」



⑥株式会社BANDAL
「自社ライセンスの発行」

ビジネスチャレンジコンペ最終選考の審査委員は、以下の6名が務めました。

香川県ビジネスチャレンジコンペ審査委員



審査の結果、「宿泊事業」と「理想の別荘」の二つの価値を両立させた「収益還元型別荘」という新しい資産投資の形を提案した**株式会社Zenが最優秀賞**、ゲーミングPCの販売とともに、ユーザーごとに最適化されたゲーム体験を提供する独自の仕組みを構築するプランを発表した**株式会社BANDALが優秀賞**、子育てや介護と仕事の両立を希望する人に対し、短期集中でローコードのスキル教育を実施し、リモートでローコード開発案件に参画できる仕組みを作るプランを発表した**株式会社グイが奨励賞**を受賞しました。

【審査委員からの講評・激励のコメントを一部ご紹介】

片山委員 本日受賞した方も、これで終わりではなく、これからがスタート。本日掲げたビジネスプランを実行に移していただき、香川県を活性化させてほしい。

嶋崎委員 登壇者の熱い思いを聞いて、お金を稼ぐという観点だけではなく、困っている人を助ける、新しい価値を生み出すといった、ビジネスの原点を感じることができた。来年は、学生をたくさん連れてきたいと思う。

大坂委員 ビジネスを成功させるには仲間が大切。社員とのかかわり方が、会社が3年後、5年後にどうなっているかを決める。人を好きになり、人に好かれる、ビジネスモデルを超越した人間力を磨いてほしい。

石井委員 6社とも、素晴らしい事業に取り組まれていた。産学官連携で地域のイノベーションの形を作っていければ、香川県はさらに盛り上がっていくと思う。

近藤委員 登壇者の熱意、香川に対する思いを実感した。本日のコンペの結果は、あくまで今時点の結果。時にはピボットしながら、チャレンジを続けることが重要。永続的に活躍できるビジネスを作っていただきたい。



【前列：発表者の皆様 / 後列：審査委員の皆様】

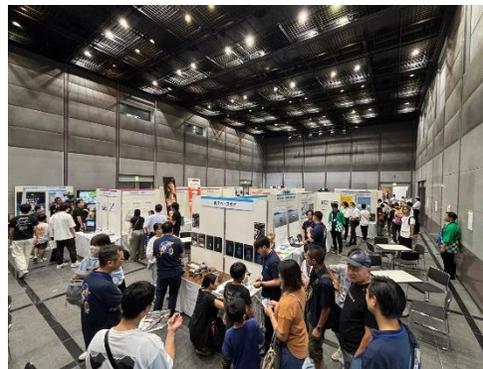
DAY2 9月15日(月) StageA(展示場)

スタートアップ等のPRブース

DAY2のメイン会場であるStageA(展示場)では、「スタートアップ等のPRブース」を開催し、県内外から集結したスタートアップや支援機関が製品・サービスのPRを行いました。

また、会場前方ステージでは、ブース出展者へのインタビューも実施しました。

※インタビューの様子は **別紙** 巻末資料 でご紹介しています。



出展者のご紹介(37社)

医療・福祉

宇宙・文化

AI・教育

フード

人材・支援

環境・インフラ

① (株) SIGN POST

香川県

弊社は、香川県に新しい健康経営支援サービスを実装します。どのような職業でも、その特性に応じた健康課題や職業病は存在し、生産性低下や人的損失に影響します。弊社は、独自ITシステムを活用し労働損失額を見える化、直接契約企業様に専門家を派遣。従業員自身のチェック・健康課題解決の為のソリューション提示、フォローアップまでを一貫して実施いたします。

② かたてんてラボ

岡山県

介護施設や障がい者の方々のお話を聞きながら開発した自助具の展示、アイデア共有、共同研究者募集を行います。会場では、納豆を片手で開けられる自助具「なっとうさん」と「たれたれさん」、薬の錠剤を片手で開けられるキーホルダー型の自助具「くすずさん」、震えや握力が弱い方でもスプーンやフォークが持ちやすくなる自助具「スプンさん」を展示する予定です。

③ メロディ・インターナショナル(株)

香川県

小型でコードレスなモバイル胎児モニター「iCTG」の実機展示と、「iCTG」を活用した周産期遠隔医療プラットフォーム「Melody i」の紹介を行います。国内外での導入事例や、それによって実現した医療格差解消、医療従事者負担軽減の成果をパネルや映像で分かりやすく展示し、未来の周産期医療を体感していただけれます。

④ (株) ウィズレイ

岡山県

近赤外分光法という分光分析手法を用いて、目視では判別できない薬剤を識別する装置である「コナミル」シリーズを展示します。本製品は、薬剤師が調剤現場で調剤内容を確認する「鑑査」業務を機械化し、薬剤師の対物業務の負担軽減と対人業務への集中を促進させることができます。

⑤ (株) Cone・Xi

岡山県

訪問看護業界特化のHR×BPO事業で、業務効率化を図り、多種多様な訪問看護業務とエリア・希望日時から、地域の潜在労働力(潜在看護師)をマッチングし、訪問看護運営をサポートします。業界特化の業務効率、採用の形を他エリアでも展開し、在宅医療業界全体の集中を促進させることができます。

⑥ (同) Setolabo

香川県

血液1滴からがんの兆候を調べるmiRNA検査と、将来かかりやすい病気を遺伝子情報から知る検査「YUI」を展示します。日々の健康管理や将来への備えとして、検査をもっと身近に感じてもらえるきっかけを提供します。若い世代から高齢の方まで、誰もが前向きに健康と向き合える社会を目指しています。

⑦ (株) PITTAN

兵庫県

「汗から健康を見える化する」オンサイト分析マシン「Pitgoras」を展示します。肌に貼るパッチで3分間汗を採取し、独自技術でアミノ酸などの生体成分をその場で解析できる小型分析装置です。実機やデモ映像を通じ、非侵襲かつリアルタイムで身体内部の状態を可視化する新しいセルフケアの選択肢としてご紹介します。

⑧ Genetic Cafe

香川県

急速に拡大する遺伝医療やゲノム医療で得られる遺伝情報は、本人に対するがんなどの病気の発症予測や健康管理に活用でき、血縁者の病気の予防にもつながります。「Genetic Cafe」では、市民・生徒に遺伝やゲノムを学ぶ機会を増やす取り組みを実践しており、今回も、DNA模型や書籍、ツールを用いて遺伝を身近に感じる場を提供します。

⑨ (株) スペースポア

香川県

四国初のロケットエンジン開発ベンチャーである(株)スペースポアは、環境負荷が少ない、低価格で安全なロケットエンジンの開発を進めています。また、地域の宇宙産業に対するリテラシー向上のための教育事業も行っており、当日は、折り紙アーティストDr. HALとともに、会場前方ステージで「宇宙開発に応用される折り紙の技術を学ぶワークショップ」を実施します。

⑩ リジョイス(株)

岡山県

ペットに寝たままで、流水を使用せず、特殊スチームで濡れずに全身が洗えるスチームシャワー「コクア」、大阪大学が解明した酸化制御技術で、99%水の状態が必要時にのみ水性ラジカルが作用し、ウイルスや菌を破壊し優れた効果を発揮する除菌・消臭剤「アクアクリエイト」、災害時、水につけるだけで168h光るLEDライトの展示を行います。

⑪ (株) モーリス

香川県

株式会社モーリスは、香川高専読問キャンパスの高感度呼吸センサのシーズを使い、高齢者見守り用の高感度呼吸センサ「SuuHaa」の製品開発を行っています。現在はインドネシアへの商品販売を目指しています。最近「SuuHaa」の技術応用として赤ちゃんのバイタルデータを正確に測定できる「乳幼児見守り」機器の開発を行っています。

⑫ (株) D-yorozu

香川県

野球のテレビ中継において従来人が手作業で行っていたボール・ストライク・アウトなどのテロップ表示を、AIが球場スコアボードを自動認識してリアルタイムに反映するシステムを紹介しています。テレビ局における人員不足や作業負担を軽減し、効率的で高品質な放送を実現します。これにより安定した中継が可能となり、地域スポーツ振興や子どもたちの活躍発信に寄与します。

出展者のご紹介(37社)続き

医療・福祉

宇宙・文化

AI・教育

フード

人材・支援

環境・インフラ

13 香川高等専門学校 香川県 (読間キャンパス 三崎・岩本研究室)

三崎・岩本研究室では、自治体や地域企業の地域課題をテーマとして、AI・IoT・ICT・ものづくり技術を用い、より早く課題解決を目指しプロダクト・ソフトウェア・アプリ開発を行っています。研究室から高専発スタートアップ企業も2社(株三豊AI開発、株D-yorozu)あり、次に続くスタートアップ立ち上げを目指して活動しています。

14 (株) ハイレゾ 香川県

AIデータセンター及び、提供サービスの「GPUSOROBAN」について紹介を行います。一般的なデータセンターとは異なり、生成AIやシミュレーションなどの研究用途に特化しています。金融取引のようなミッションクリティカルな処理を想定しないため、過度な堅牢性や冗長性、リアルタイム処理といった要件を緩和することができ、圧倒的な低コスト化を実現しています。

15 香川県瀬戸内国際芸術祭推進課 香川県

瀬戸内の島々を舞台に、3年に1度開催される現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」。期間中に約100万人の人が国内外から訪れる、日本を代表する国際的な芸術祭です。ブースでは、瀬戸内国際芸術祭の取組みを紹介するとともに、公式グッズの販売も行います。

16 折り紙アーティストDr. HAL 香川県

身近な折り紙の技術が、宇宙開発など、先端技術産業にも活かされていることをご存知ですか？当日は、ブースにて折り紙作品の展示を行うとともに、会場前方ステージにおいて、「宇宙開発に応用される折り紙の技術を学ぶワークショップ」を実施し、折り紙の魅力を皆さんにお伝えします。

17 エン太・オンライン 香川県 個別指導 Reclaim

企業のロゴを印刷したNFC名刺で、スマホをかざすと会社情報やWebサイトが瞬時に表示される「ロゴカード」の展示を行います。ブースでは、「ロゴカード」作成体験を実施し、カードに好きな絵や文字を書いたり好きなYouTubeのリンクなどを貼り身近に体験していただけます。

18 日本ルースト(株) 香川県 J-Startup WEST 認定企業

種鶏生産において、高齢化による雌雄鑑別師不足が課題となっています。当社は、地鶏の品種改良や維持管理に欠かせない「肛門鑑別法」というヒヨコの雌雄鑑別技術を、高精度のAI性別判定技術を用いて代替します。AI、DX化により国内養鶏業の生産の安定化に取り組みるとともに、人口が増大するインド等世界に向けた、国産初AI技術の展開を図ります。

19 (株) レアスウィート 香川県

希少糖アルロースおよび希少糖アルロースを主成分とした商品「アストレア」の展示を行います。「アストレア」は、希少糖アルロースを主成分とする機能性表示食品で、食後血糖値の上昇抑制や脂肪燃焼促進などの効果が科学的に認められています。飲み物に混ぜるだけで手軽に摂取でき、健康志向の消費者をターゲットとしています。

20 Grino 東京都 (Red Yellow And Green (株))

食品OEMを通じて「インバウンド対応×人手不足解消×環境貢献」を実現。ヴィーガン・ハラール対応食品の開発や仕込み代行で食の現場を支え、その取り組み自体が温室効果ガス削減につながる仕組みを構築しています。

21 (株) XEN GROUP 香川県 J-Startup WEST 認定企業

「Water Stability System (WSS)」は、食品そのものの温度を精密に制御し、品質とおしさを左右する“水の動き”をコントロールできる世界初の技術。食品ロスの削減だけでなく、食品保存・流通の常識を覆します。WSSで処理したフルーツの販売も行います。これまでにない技術が生み出す新しいおいしさを、ぜひお楽しみください。

22 大手前高松中学・高等学校 香川県

当校の飛翔(六年一貫)コースでは「何か変えたいことがあれば、誰かにやってもらうのではなく自分でプレゼンしよう」というプレゼン力育成に特化した取り組みを行ってきました。また、令和8年度からスタートする高校入学科の新コースである未来探究コースでは、アントレプレナーシップ醸成のための様々な取り組みを行います。

23 高松商業高等学校 香川県

当校では、高校生から地域と連携した取り組みを行ない、地域の課題に目を向けながら、自分たちの学びを活かし、実践につなげるべく活動しています。当日は、商業科の授業の一環で、高松商業高校と地域、医療従事者を結びコンセプトで作成した「高商輪3本」を展示します。商品企画・パッケージ制作は生徒、和3益の製造はOBでもある「HIYORI WASANBON」が担当しています。

24 香川大学起業部 香川県

香川大学起業部では、起業に必要なスキルの習得、チームビルディング、およびビジネスモデルの構築を支援し、学生に起業を身近に感じさせ、視野を広げる場を提供しています。具体的には、動画編集、デザイン、コンペ参加などを学ぶスキルアップ講座やBBQなどを通して、地元企業と学生の交流の場を創出する月に一度の交流会を企画・運営しています。

25 (株) Timers 東京都

当社は、採用プロ集団×生成AIにより“圧倒的”なコストパフォーマンスを実現する採用代行サービスをご提供します。人事部門の社員にとって大きな負担となる、ノコア業務を全て代行可能です。戦略立案・スカウト代行から面接調整などのあらゆる業務を、採用経験豊富なプロとAIツールを使うスタッフが成果にコミットします。

26 パーソルキャリア(株) 東京都

スタートアップ企業向けの注力支援プランとして展開している「HiPro Direct」を展示します。副業・フリーランスのハイクラス人材と企業がマッチングできるプラットフォームであり、設立10年以内のスタートアップ企業対象で2026年3月31日まで期間限定で無料で活用いただけます。

27 KUROFUNO(株) 愛知県 J-Startup CENTRAL 認定企業

日本に住む外国人労働者の支援アプリをご紹介します。「KUROFUNO」は、母国語で仕事を探ることができるアプリで、日本語の履歴書も作成することができます。「KUROFUNO PASSPORT」は、特定技能労働者の法定支援・定着支援アプリです。法律上必要な10個の支援業務だけでなく、人材の定着も図るサービスです。

28 ジェトロ香川 香川県

スタートアップに特化して、世界でエコシステムを有する主要な都市への海外展開支援を行っています。メンタリングから協業先候補の発掘まで手掛けているほか、海外のテックイベントにもジャパンパビリオンを出展しています。また、海外スタートアップと日本企業を結び、日本と海外を繋ぐイノベーション促進も手掛けています。

29 (株) ちゅうぎん 岡山県 キャピタルパートナーズ

地域の課題解決に資するスタートアップと連携し、全国の優れたプロダクトと地域を繋ぐハブとなる活動を行っています。会場では、弊社及びちゅうぎんグループ取組みをご紹介します。投資先スタートアップの革新的な製品・技術・サービスを紹介します。

30 (株) 永光 香川県

廃瓦をリサイクルし、砕石砂利に代わる高機能で環境にやさしい再生瓦製品を製造販売します。現在埋立処分されている解体業、瓦製造業、屋根工事業から出る廃瓦をリサイクルし、逼迫している香川県の産廃処分場問題、高騰する産廃処分価格に歯止めをかけ、環境問題や空き家問題の解決に一石を投じます。

31 末澤緑地(株) ThePARK 香川県

2025年3月より、厳選した観葉植物とデザイン性の高い鉢をセットにした法人向けサブスクリプションサービス「GreenOffice(グリーンオフィス)」を開始しました。当日は、本サービスで提供するプランをご紹介します。オフィス環境に最適な観葉植物を提供し、働く人々の生産性向上と快適な職場環境の創出を支援となることをお伝えします。

32 (有) 鎌野鉄工所 香川県

当社は、水中技術を軸に“DX”を推進するべくスクール運営・実機販売に加え、画像鮮明化装置やマルチビームソナー等を活用した水中調査事業で、高精度モニタリングに取り組んでいます。展示ブースでは、実機や映像を通じて水中×DXが生み出す新しい現場の可能性とユースケースをご紹介します。教育・災害対策・インフラ保守など多様な業種との協業機会を創出します。

33 四国経済産業局

四国経済産業局では、中国経済産業局などと中国・四国地域のスタートアップエコシステムの強化のため、2023年からJ-Startup WESTを運営しています。自治体や企業、支援機関などと連携し、有望なスタートアップの成長支援とともに、スタートアップフレンドリーな環境を目指しています。会場では、J-Startup WEST選定企業に加え、当局のスタートアップ支援事業を紹介します。

34 岡山市 岡山県

岡山市はスタートアップ支援拠点「ももスタ」を中心にスタートアップの創出・成長支援を行っています。2025年6月に内閣府よりスタートアップ・エコシステム拠点都市に愛媛県と共同採択されました。岡山・瀬戸内エリアから「刺激の輪」を広げていき、イノベーション創出に繋げていきます。

35 Setouchi-i-Base 香川県

Setouchi-i-Baseは「人が集い、学び、交わり、共創する、オープンイノベーション拠点」をコンセプトに、起業・第二創業、既存企業の競争力強化につなげられるよう、人材育成や活動・交流の場の提供、さらにはビジネスマッチング支援まで一体的に取り組み、みなさまと一緒に地域経済の活性化を目指す施設です。

36 香川県警察 香川県

技術流出の防止対策を支援するため、具体的な手口や対策の情報提供を行います。

37 香川県産業技術センター 香川県

産業技術センターの支援メニューや支援事例の紹介を行います。

宇宙開発に応用される折り紙の技術を学ぶワークショップ

(株)スペースポア／折り紙アーティストDr. HAL

Stage Aの前方ステージでは、「宇宙開発に応用される折り紙の技術を学ぶワークショップ」を開催しました。

人工衛星に搭載するソーラーパネルは、地上のものよりも10倍以上の大きさがありますが、これを宇宙に運ぶ際には、ロケット内のわずかなスペースに載せるしかありません。そこで活用されているのが、小さな力で大きく開く「ミウラ折り」という技術です。

このワークショップは、香川発のロケットベンチャー企業である株式会社スペースポアに実施いただいたもので、子どもたちにとって身近な「折り紙」の技術と先端技術産業の繋がりが体感できる、とても意義深いワークショップでした。

講師を務めたのは、小学5年生で、日本折り紙協会公認クリエイターの折り紙アーティスト、Dr. HALさん。

宇宙と折り紙をつなぐ壮大なストーリーや、「ミウラ折り」の説明を実演しながら見事にこなし、子どもから大人までが、夢中になって折り紙に取り組みました。





勇者ファイバリオン

尾路医科器械（株）／（株）BRAVE ROBOTICS／（株）ICOMA

Stage Aには、昨年に引き続き、スタートアップフェスタの目玉コンテンツとなった「勇者ファイバリオン」が登場。ロボットと同じ骨格の操縦装置を腕に装着することで自分の動きがそのままロボットに伝わる操縦体験を実施し、たくさんのお子どもたちに体験していただきました。

次世代型感覚デバイス「SYNCREO」装着体験

（株）Raise the Flag.

J-Startup WEST 選定企業である（株）Raise the Flag.が開発する次世代型感覚デバイス「SYNCREO」の展示コーナーでは、実際に「SYNCREO」を装着し、視覚情報がない中でも、音響と振動の変化により、目の前の状況を正確に感覚的に把握できる、次世代の体験をすることができました。

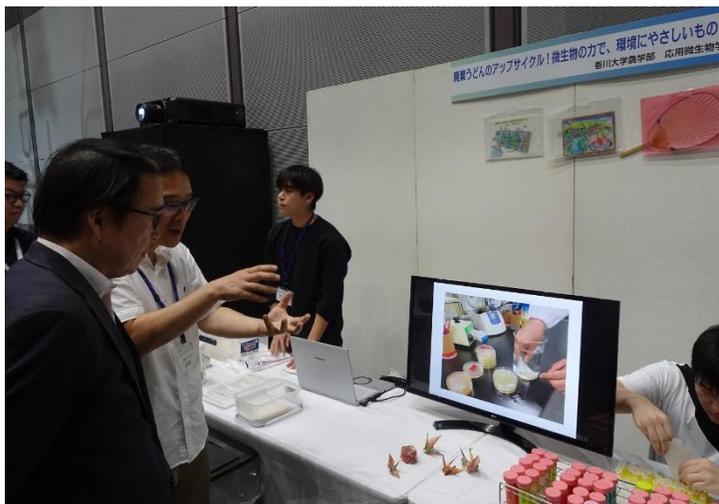


廃棄うどんのアップサイクル！微生物の力で、環境にやさしいものづくり

香川大学農学部応用微生物学研究室

香川大学農学部応用微生物学研究室の展示ブースでは、やむを得ず廃棄されるうどんを、微生物の力で「紙」にアップサイクルする取り組みを紹介しました。

廃棄うどんを精製された糖質と捉え、酵素によりグルコースまで分解後、酢酸菌の仲間の培地（栄養源）として使用することで、様々な厚さのセルロース膜にリサイクルする取り組みで、このセルロース膜を乾燥させた「微生物紙」を用いて作った綺麗な折り紙や「丸亀うちわ」が展示されました。



DAY2 9月15日(月) StageB(デックスガレリア)

StageB (デックスガレリア) では、香川発スタートアップによるロボットのデモンストレーション、新技術を使った冷凍フルーツの販売のほか、スプレーアート体験教室や、学生によるダンスステージ、「スタートアップ漫才」など、様々なコンテンツを実施しました。また、フェスタの締めくくりとなったトークセッション「私が起業するって言ったら？」では、家庭での会話を想起させるテーマで、学生や若手起業家の熱い想いを聞くことができました。

「運搬トモロボDOG」デモンストレーション

建ロボテック (株)

J-Startup選定企業である建ロボテック (株) は、協働型ロボットの提供や省力化ソリューションの開発を行うスタートアップです。会場では、自動追従機能で特定の人についていく運搬ロボット「運搬トモロボDOG」のデモンストレーションを実施しました。



「墨出口ロボット HOKUSAI」デモンストレーション

(株) 未来機械

J-Startup WEST選定企業である(株) 未来機械は、過酷な現場の苦役を解消することで社会課題を解決する「未来の機械」を創り続けるスタートアップです。会場では、図面情報をインプットすることで測量器と連携しながら自動で床に墨出しを行うロボット「墨出口ロボット HOKUSAI」のデモンストレーションを実施しました。

新技術“Water Stability System”を使った冷凍フルーツ販売

(株) XEN GROUP

J-Startup WEST選定企業である(株) XEN GROUPは、「モノづくりは世界を豊かにする」を掲げるスタートアップです。会場では、食品そのものの温度を精密に制御し、品質とおいしさを左右する“水の動き”をコントロールできる世界初の技術“Water Stability System (WSS)”を使った冷凍フルーツを販売しました。



スプレーアート体験教室

スプレーアートDaisuke

デックスガレリアのテントでは、スプレーアートDaisukeさんによるスプレーアート体験教室を実施しました。絵が苦手な方でも、簡単に、缶スプレーで幻想的で美しい惑星の絵が描けるワークショップで、たくさんの方に体験していただきました。



学生ダンスステージ

香川高等専門学校ダンス同好会/
大手前高松中学・高等学校ダンス部

StageBの前方ステージでは、香川高等専門学校ダンス同好会と大手前高松中学・高等学校ダンス部による熱いダンスで、フェスタを盛り上げていただきました！

スタートアップ漫才

漫才コンビ「二者面談」

「二者面談」は、大手前高松中学・高等学校の英語科教員ムラチ先生と高校1年生のヨシジマさんによる異色の漫才コンビです。

「スタートアップ」というテーマで漫才をするという難しいオーダーでしたが、お笑いとビジネスを融合した漫才で、会場を大いに沸かせました！



トークセッション「私が起業するって言ったら？」

ステージでは、「二者面談」での漫才に引き続いて、大手前高松中学・高等学校の邑地先生にモデレーターを務めていただき、学生や若手起業家の考え方や熱い想いを聞くトークセッション「私が起業するって言ったら？」を開催しました。



【コメントを一部ご紹介】

(株)ボーダレス・ジャパン「For Good」事業 代表 小松さん

輝ける場所は人それぞれ。ひとつダメだったとしても、別の場所では輝けたりする。自分がダメなんじゃなくて、向いてない場所だったと思って、次に行ってほしいと思う。頼れる環境が格段に増えているので、興味を持ったことにはどんどん挑戦して、難しいときには、周りの大人に頼りまくってほしい。

香川大学起業部、(同)Biryoku 代表 藤澤さん

周りから「やめた方がいい」と言われることがあっても、自分で決めて決めることが重要。意見を聞くことも必要だが、意見を聞いて自分で決めたのか、人に決められたのかがすごく大事。

(株)アラブリンク 代表 ザナティさん

今やりたいことがなくても、親や仲間を大切に、感謝の気持ちを言葉や行動で伝えてほしい。そうすることで、将来困った時に助けてもらえたり、新しいチャンスが広がっていく。

岡山大学、「かたてんてラボ」 原さん

やりたいことがあってもなくても、まずは周りの人と話してみたい。最初は自分の言葉ではないかもしれないが、話すうちに自分の言葉になり、本当にやりたいことが見えてくるはず。

どんどんしゃべって、夢を形にしてほしい。

大手前高松中学・高等学校 邑地先生

子どもに「こんなことやりたいんだけど」と言われた時には、否定するんじゃなくて、面白そう、やってみたら、と後押ししてあげてほしい。「起業したいんだけど」と言われたら、「どんなこと考えてるん」という感じがいいんじゃないかな。



DAY2 9月15日(月) StageC(市民ギャラリー／コミュニケーションプラザ)

StageCでは、香川高等専門学校先生や学生の皆様にご協力いただき、子ども向けのワークショップを実施しました。

ものづくりワークショップ

香川高等専門学校 高松キャンパス

市民ギャラリーでは、香川高等専門学校高松キャンパスによる、小中学生向けの「ものづくりワークショップ」を実施しました。ワークショップは「機械模型（協力：機械工学科）」「USBマイコン付き扇風機（協力：機械電子工学科）」「セメントコースター（協力：地域イノベーションセンター）」の3種で、子どもたちに本格的なものづくりを体験してもらいました。



レゴでつくる 簡単ロボット教室

香川高等専門学校 詫間キャンパス

コミュニケーションプラザでは、香川高等専門学校詫間キャンパスによる、赤外線で操るリモコンカーとレゴブロックでオリジナルロボットカーをつくる「簡単ロボット教室」を実施しました。会場はロボット作りに熱中する子どもたちでいっぱいになり、ロボットやシステムに触れてもらう良い機会となりました。



DAY2 9月15日(月) StageD(情報通信交流館)

子ども向けプログラミング教室

(株) ハイレゾ／さくらインターネット (株)

StageDでは、(株)ハイレゾ、さくらインターネット(株)にご協力いただき、プログラミングの基礎を学び、自分でゲームを作ることができる「子ども向けプログラミング教室」を開催しました。この教室は、子ども向けコンピュータ「IchigoJam (イチゴジャム)」を使ってBASIC言語のプログラミングに挑戦するもので、初めてでも安心して参加できる内容でした。



DAY2 9月15日(月) StageE(多目的広場)



金管バンド演奏

高松市立円座小学校金管バンド部

Stage Eでは、高松市立円座小学校金管バンド部によるバンド演奏が披露されました。創立47年を迎える歴史と伝統のあるバンド部の迫力ある生演奏で、大いに会場は盛り上がりました。

キッチンカー

香川県キッチンカー協会

また、香川県キッチンカー協会ご協力のもと、5台のキッチンカーに出店いただき、フェスタを盛り上げていただきました。

【出店店舗】 Jベース / つぼ焼き芋KOU / VOYAGE / Nicori / TIKKAケバブ



来場者特典

協力：(株)レアスウィート

PRブースにも出展した(株)レアスウィートのご提供で、当日アンケートにお答えいただいた来場者に、希少糖シロップ「アストレアプラス」をプレゼントしました。



アストレアプラスは

ゼロカロリーの希少糖「アルロース」の液状品です。

希少糖「アルロース」は、日常生活のエネルギー代謝において

脂肪の燃焼を高める機能、

食後の血糖値の上昇をおだやかにする機能が報告されています。

「かがわスタートアップフェスタ2025」には、2日間あわせて延べ約6,000人の方にご来場いただきました。また、当フェスタの開催にあたっては、県内外から60を超える多彩な企業・団体の皆様に参画いただきました。ご協力いただいた皆様、当日ご来場いただいた皆様に改めて御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

【巻末資料】

かがわスタートアップフェスタ2025

「出展者インタビュー」記録

① (株) SIGN POST 田村さん



Q. 事業の内容を教えてください。

A. 健康経営支援事業を提供しています。従来の健康経営は食生活や運動、メンタルヘルスなどが中心ですが、実際の現場では、肩こりや腰痛、手のしびれなどの痛みや不調で生産性を下げることが多くあります。そこで、弊社では、働く人の体の痛みや不調を分析し、原因を特定して改善に導く支援をしています。

Q. この事業を立ち上げた、きっかけや想いはどういったものでしょうか。

A. 医療の現場で働いていて、もう少し早く予防ができればと感じることが多くありました。特に、働いている人の体の痛みや不調は、表に出にくいですが、生産性や生活の質に直結するものであると思い、事業を立ち上げました。

Q. この事業でどのような未来の社会を作っていきたいですか。

A. 健康経営の新しい形を香川県で広げることです。体の痛みや不調を予防・ケアすることで、従業員さんが元気に長く働き、企業の生産性が高まってイメージも向上する、という状況を地域全体に広めていきたいと思っています。

Q. 利用者からはどのような声をいただいていますか。

A. 創業して1年ほど活動しておりまして、ご理解いただける企業はたくさんありますが、実際の導入が難しいので、今日の機会に、皆さまにご覧いただければと思います。

Q. かたてんてラボさんということで、かわいい名前ですが、どういった事業でしょうか。

A. 片手だけで納豆を食べられる自助具であったり、自助具をもっとかわいく、おしゃれに、そんなイメージをもっている「かたてんてラボ」という事業をやっています。「片手だけで生活できるように」をテーマに開発しています。

Q. イメージがかわいくてポップですが、どういった想いで事業を始めたのでしょうか。

A. 中学3年生のときに、片手まひの方が、ゲームができないという悩みを抱えていらっやっして、その方のために片手ゲームコントローラーのデザインを始めたのが、この事業のきっかけです。従来の自助具は統一されたデザインで、無機質なものが多いですが、そこで、かたてんてさんというデザインが合わさることで、もっと暮らしやすく、さらに色のついたおしゃれな世界を生きていけるのではと思って、このようなデザインで開発をしています。

Q. お客さんからの声はいかがですか。

A. 売ってはいませんが、実際に介護施設とか障害者施設に使っていただいて、食べたいときに食べることができる幸せを感じていただき、かたてんてがいることで、ふんわりとしたイメージで、堅いイメージがなくなるとおっしゃっていたので、開発者としては嬉しいです。

②かたてんてラボ 原さん



③メロディ・インターナショナル (株) 尾形さん、二ノ宮さん



Q. かわいいぬいぐるみと一緒に登壇いただきました。

A. 私たちは課題解決型のスタートアップです。世界中で今、1億4千万人の出産がある中で、年間100万人の赤ちゃんが亡くなっており、これは世界中の課題です。日本は今、周産期医療が増えていて、そこで培ってきた医療の一つの機序となっている機器を開発しています。このクマちゃんがつけている機器が、私たちが開発している機器です。

Q. どういったことができるのでしょうか。

A. クマちゃんが妊婦さんとすると、おなかの中の赤ちゃんの心拍、妊婦さんの陣痛が測れるようになっています。

Q. 妊婦さんのおなかの中の状態を、このかわいらしい機器で知ることができるんですね。

A. データがお医者さんのもとに飛んでいって、お医者さんが遠隔で判断することができるシステムです。この機器は世界で使われており、ブータンでも使われていますが、本日の私たちの衣装はブータンの民族衣装です。

Q. どんな方に届けたいですか。

A. 赤ちゃんが生まれるときに心配になる方、香川県では、特に島の妊婦さんは病院に通うのが大変で、天候が悪くなれば通えないということもあります。そういった方に、安心感を持って過ごしていただけること目指しています。

④ (株) ウィズレイ 森山さん



Q. どのような事業を行っているのでしょうか。

A. 薬を見分ける装置を開発しており、薬剤師が調剤をした後に、例えば中身が何か分からなくなったとき、分光分析により薬の中身を見分けることができる装置を開発しています。

Q. 薬の見分けを機械が行う、こういった事業をなぜ行おうと考えたのですか。

A. 私が薬学部出身で、製薬メーカーで研究開発をした後、大学の薬学部で1年ほど教員をしていましたが、そのときに薬剤師の現場を見る中で、薬剤師が調剤監査などに時間的・心理的に大きな負担があることを知り、製薬メーカー時代に研究していた分光分析により課題を解決したいと事業を始めました。

Q. 導入したことで現場の作業はいかがでしょうか。

A. 作業の効率が上がったというよりは、やはり作業の安心感が得られるという声をいただいています。

Q. この技術でどのような未来の社会を作っていきたいでしょうか。

A. 薬を見分けることを拡張して考えると、日本ではあまり感じることはありませんが、海外では偽造薬品が問題となっており、良くないところにお金の流れたりしているので、そういったことを防ぐように進化できればと思います。

Q. どういった事業をされているのでしょうか。

A. 訪問看護をする看護師さんの、働き方や悩みを捉えた事業を行っています。WEBで潜在的な看護師さんの働きやすい環境を作って、業界全体の人材不足を解消していこうと考えています。

Q. この事業を立ち上げた想いはどういったものでしょうか。

A. 実際に看護師として訪問看護運営をしていた中で、業界の人材不足や非効率な問題を多く実感したので、その経験をサービスに落とし込んでいます。本日は、実際にワーカーとして働いてくれている看護師さんに来てもらったので、是非、実際、働いてみてどうかということをお話したいと思っています。

Q. 看護師さんは大変なお仕事と思いますが、この環境で働いてみてどうですか。

A. 病院勤務の時は、時間が自由にならずもどかしいこともありました。今は、育児や介護がある中で、自分で1日のスケジュールを組めるので、すごく働きやすいです。また病院に戻れるんじゃないか、という自信ももらっています。

Q. 一緒に働かれている仲間の方はどうですか。

A. 相談し合えるグループがあって、同じ境遇で相談できるので、とても働きやすいです。

Q. このサービスが導入されることで、将来どのような未来を作っていきたいですか。

A. 看護師さんの業務は多岐にわたるので、比較的簡単な作業から導入して、働きやすい環境を作ることで、業界の人材不足を解消して、在宅医療で患者さんが安心して生活できるような環境を作っていくことが私たちの目標です。

⑤ (株) Cone・Xi 高木さん



Q. 事業の内容を教えてください。

A. 私たちは、香川大学医学部と共同で、採血一回で多種のがんを早期に発見できる検査を開発しています。また、それは別に、自費で受けられる遺伝子検査も開発していて、皆さんに提供できるような検査を作っているところです。

Q. がんの早期発見について、このサービスが導入されると、今までとどう変わるのでしょうか。

A. がんの早期発見のためには、がんの種類ごとに別の場所に行って検査を受ける必要がありますが、私たちの検査は、採血1回で多種のがんが検査できるので、より多くの方ががん検査を受けることができ、早期発見に繋がられます。

Q. どういった想いでこの事業を立ち上げましたか。

A. 予防医療に力を入れていきたいと思ったときに、現在、4人に1人ぐらいががんで亡くなると言われる中で、がんの早期発見に着目し、こういった事業を行っています。

Q. 導入先からは、どういったお声をいただいていますか。

A. まだ開発中なので導入はしていただけていませんが、香川大学医学部と一緒に精度の高い検査を提供できるように、共同で研究開発を行っています。

⑥ (同) Setolabo 福井さん



Q. 事業の内容を教えてください。

A. 私たちは、香川大学医学部と共同で、採血一回で多種のがんを早期に発見できる検査を開発しています。また、それは別に、自費で受けられる遺伝子検査も開発していて、皆さんに提供できるような検査を作っているところです。

Q. がんの早期発見について、このサービスが導入されると、今までとどう変わるのでしょうか。

A. がんの早期発見のためには、がんの種類ごとに別の場所に行って検査を受ける必要がありますが、私たちの検査は、採血1回で多種のがんが検査できるので、より多くの方ががん検査を受けることができ、早期発見に繋がられます。

Q. どういった想いでこの事業を立ち上げましたか。

A. 予防医療に力を入れていきたいと思ったときに、現在、4人に1人ぐらいががんで亡くなると言われる中で、がんの早期発見に着目し、こういった事業を行っています。

Q. 導入先からは、どういったお声をいただいていますか。

A. まだ開発中なので導入はしていただけていませんが、香川大学医学部と一緒に精度の高い検査を提供できるように、共同で研究開発を行っています。

⑦ (株) PITTAN 児山さん



Q. 事業の内容を教えてください。

A. 汗を採取して、含まれるアミノ酸を分析して、肌や筋肉の状態などをスコアにするサービスをしています。

Q. 汗で体の状態が分かるんですか。

A. そうなんです。汗は血液が細胞、皮膚を通過して染み出てきている成分なので、体の情報を結構含んでいるんです。

Q. どういうことが分かっていくんでしょうか。

A. 現在のサービスとしては、肌のたるみとか張りとか柔らかさとかそういった美肌分析サービスをやっていて、東京や大阪の百貨店に分析装置を設置したばかりです。

Q. 汗に情報が含まれているんですね。どういう想いでこの事業を立ち上げたんですか。

A. 我々のシーズとして、薄い体液を高性能に分析する技術があり、99%水でできている汗は、分析対象として非常にいいと思いました。というのも、汗は、感染症のリスクが指摘されていないので、どこでも誰でも使えるからです。

Q. この技術を使って、どのような未来の社会を作っていきたいですか。

A. 私たちが作っているような小型の分析装置を、医療現場や研究室のラボ以外の本当に身近なところで使ってもらって、体の中の情報を自分で知り、行動パターンにつなげてほしいです。2030年ぐらいには、これを医療現場や薬局でも使ってもらえるようにしたいと思っています。

Q. どんな事業をされているのでしょうか。

A. 遺伝に関する啓発や、市民の方々に遺伝やゲノムを親しみやすく知ってもらう取り組みをしています。

Q. 遺伝に関するということですが、どういうことが分かるのでしょうか。

A. 私たち香川大学医学部付属病院では、臨床遺伝ゲノム治療科という遺伝の診療科があって、遺伝性のがんやそのほかの疾患について、適切に予防しようということが検査で分かるんですが、そういったことをそもそも知らない方が多いので、こういう風に生かしていこうということも含めて、市民の方々に学生さんにお話をしています。

Q. どういったところに行けばサービスを受けられるのでしょうか。

A. 現状、サービス自体は病院になりますが、こういった啓発をすることで、関心を持っていただき、アクセスしやすい状態になればと思っています。

Q. この事業を始めたきっかけはどういったものでしょうか。

A. いろんな患者さんを診る中で、誤った情報や、お父さん、お母さんががんだから自分もがんになるんじゃないかと、そういったことを言われるので、正しく理解する必要があると思い、始めました。

Q. これを始めることで、医療の未来にどうなってほしいですか。

A. 遺伝に関わらず、様々な情報をしっかり入手して、豊かな生活で、笑顔で暮らしていければと願っています。

⑨リジョイス (株) 赤澤さん



Q. 事業の内容を教えてください。

A. 2023年から事業を始めまして、介護・看護・感染症予防・防災に関する事業を行っています。

Q. この事業を立ち上げた、想いはどういったものでしょうか。

A. 障害福祉施設で働いていた経験がありますが、入浴の介護は負担が大きく、一方で疎かにしていると入院患者さんや利用者さんの生活の質が落ちてしまいます。先進の技術とサービスで、患者さんや利用者さんの生活をよりよいものにしていこうと考えています。

Q. 入居者の生活に重要なものとして、水関係のものが多いですね。

A. そうですね。特に、今回お持ちした「アクアクリエイト」は、大阪大学が開発した技術を利用したもので、99%が水でできており、菌やウイルスを除去できるものです。四国では初めて紹介するので、是非ブースで見てください。また、8月から取り扱いを始めたばかりの嚥下機能を鍛える装置もお持ちしています。医療機器の機能そのままに、家庭でも使えるものなので、ぜひ見ていってほしいです。

⑧Genetic Cafe 十川さん



⑩ (株) モーリス 三崎さん



Q. 事業の内容を教えてください。

A. SuuHaaというセンサーを開発している会社です。今日は、ビジネスチャレンジコンペでも発表した赤ちゃんの見守りをする装置も追加でお持ちしました。呼吸に伴うデータを測定できるシステムです。

Q. このサービスの導入で、介護等の現場はどのように変わのでしょうか。

A. 呼吸が止まった後に心拍が止まるという順番なので、呼吸を測定できることで、より早い段階で異常が検知できます。介護現場では、褥瘡予防にもつながりますし、赤ちゃん用としては、乳幼児突然死症候群の予防につながります。

Q. この事業は、こういった思いで立ち上げたのでしょうか。

A. もともと社長が人口呼吸器をつけていたこともあり、予防測定ができる装置があれば役に立つのではないかと開発を始めたものです。ブースに来ていただければ、SuuHaaを装着して体験することもできます。

Q. 事業の内容を教えてください。

A. 主に県内や瀬戸内地区の企業さんから、AIやDX、デジタル化ができないかという依頼に対し、システムを開発し提供する事業を行っています。そのうちの 하나가、今回紹介しているシステム(Strike Vision: AIが球場のスコアボードを自動認識して、テレビ中継のテロップにリアルタイムで反映するサービス)です。

Q. 実際に納品されているということは、今、テレビなどで見ることができるのですか。

A. こちらは瀬戸内海放送さんに導入されているシステムで、「バーチャル高校野球」というネットで高校野球を見れるサービスがありますが、そちらで使われているシステムです。

Q. こうしたAIの事業を立ち上げた、きっかけはどういったものでしょうか。

A. このD-yorozuという会社は、私が香川高専の学生の時に作った会社です。高専で課題を聞いて解決するというをやっている、実際に会社にすればいいじゃないかということで起業して、今もやっています。

Q. これからどんな事業を展開していきたいですか。

A. 香川県ないし日本の地方の企業に対して、私たちのAI化、デジタル化のソリューションを提供して、より地域が活性化するようなシステムを作っていきたいと思っています。

⑫ (株) D-yorozu 山田さん



Q. 事業の内容を教えてください。

A. AI開発に必要な不可欠な計算力を提供するGPU専用データセンターと、世界最安値級でGPU計算力を提供するGPUクラウドサービスを提供しています。

Q. この技術でどのような未来が来ることが理想ですか。

A. 日本は人口減少や高齢化等の大きな問題を抱えています。その中でAIは非常に重要で、皆さんの生活を豊かにするうえで、なくてはならないものになります。私たちは、その開発を支援させていただきたいと思っています。

Q. ここにもAIが使えるよってという意外なものってありますか。

A. AIは、本当に何にでも使えます。四国であれば、瀬戸内国際芸術祭で賑やかになっていますが、エンターテイメントや芸術、観光にもAIが使われていくと、皆さんになじみの深いものができあがっていくんじゃないかと思っています。

Q. 最後にブースのPRをお願いします。

A. 私たちはもともと東京の企業ですが、香川県の方々に誘致されて、中四国最大のAI専用データセンターを提供しています。AI開発等に興味のある方は、是非ブースにお立ち寄りください。皆様と一緒に四国の発展に尽力できればと考えていますので、よろしくお願いします。

⑭ (株) ハイレゾ 小堀さん



⑮香川県瀬戸内国際芸術祭推進課 坂下さん



Q. 瀬戸内国際芸術祭のご紹介をお願いします。

A. 瀬戸芸は3年に1回のイベントで、国内外からたくさんの方をお招きしている現代アートの祭典です。地域住民とのワークショップやイベントを通して交流の輪を作ったり、アートを通して地域の魅力を伝える取り組みもしています。

Q. まさに秋会期が間もなく始まりますが、おすすめのポイントはありますか。

A. 秋会期の特徴としては、西のエリア、本島、高見島、粟島、伊吹島、宇多津エリアがあります。今回初参加の宇多津エリアは元々塩のまちとして有名ですが、塩をテーマにした作品を展示しますので、ぜひ楽しみにしてください。

Q. 最後に、ご来場の皆様にPRをお願いします。

A. 10月3日から秋会期が始まります。単なる観光イベントでなくアートを通して地域の再生、文化を知っていただく地域創生の取り組みとなっています。この機会に、是非お越しください。

Q. 事業の内容を教えてください。

A. 子どもから大人まで対象のオンライン個別指導塾と、個人や中小企業の方が対象の事務代行サービスを行っています。

Q. これらの事業を立ち上げたきっかけはどういったものでしょうか。

A. コロナの時期に、塾のバイトが止まったので、オンラインの個別指導塾を始めました。その後、集客、広告に力を入れる中で、他の人も困っているだろうと思い、エン太という事務代行サービスを立ち上げました。広告やチラシは広告代理店もありますが、私たちの場合は事務代行で全て解決するように、ご提案することができます。

Q. 塾と事務代行を同時に行うという、両方始めたのも何かきっかけがあるのですか。

A. 基本的にオンラインの個別指導塾は時間が夕方以降になりますので、日中の時間を有効活用できないかということで、事務代行サービスを行っています。

Q. ご来場の皆様にPRをお願いします。

A. 今後も、かゆいところに手が届くサービスを提供できればと思っています。今日は、かざすだけで情報を見られる「ロゴカード」を展示しています。実際に作ることもできますので、是非ブースにお立ち寄りください。

⑰エン太・オンライン個別指導Reclaim 眞重さん



Q. 事業の内容を教えてください。

A. ヒヨコの雄と雌を判定する技術を主にやっています。各県の畜産試験場では、地鶏の開発を行っていますが、そこで品種改良や育種をするときに、鶏の雄と雌を生まれて1日目で見分ける鑑別士という方たちがが必要です。その鑑別師が少なくなってきたので、その分ける技術をAIに学習をさせて、判定ができるようにしています。

Q. お尻をみて分けるというのは大変そうですね。

A. 海外でも鶏の生産量が伸びていますが、雄と雌の判定ができなければ生産の効率化ができません。私たちの技術は、普通に食べる鶏ではなくて、その鶏のお父さん、お母さんを見分けるために必要なんです。

Q. この技術、他にも使えそうな気がします、応用して未来にやりたいことはありますか。

A. 形が見分けにくいような生物、生態系に関わるAI判定“生態系AI”をやろうとしています。その一つが花粉球を集めているミツバチで、花粉球がいくつ巣箱に戻ってきたかを読み取ることで、30日後、40日後の野菜の収量を予測することができたりします。また、マダニ対策として、家の中でネズミがいることを検出できれば、駆除剤を工夫することで対策できます。こうした特殊な生物や生態系をAIで検出することを広げていこうとしています。

Q. 掴みよのないものをAIでしっかり数値化する、対応することができるんですね。

A. まとめていただいてありがとうございます。他にも高知県や鹿児島県とも連携して、いろいろやっています。

⑱日本ルースト(株) 中野さん



②0 Grino (Red Yellow And Green (株))

内海さん



Q. カラフルな素敵なお名前ですが、事業の内容を教えてください。

A. もともと、企業の社員さんに向けたサラダを作っていたのでこの社名です。コロナでオフィスから人が消えたタイミングで、プレート食品事業に切り替えました。そのタイミングで、環境負荷の低い食品を普及させたいという想いで、動物性のものを使わずにプラントベースでおいしい食品を家庭に届けるサービスを始めました。味の評価が良かったので、より受け入れてもらえる市場として、ビーガンやインバウンド対応をホテルや飲食店向けに進めています。

Q. 具体的にどんなものを作っているのでしょうか。

A. 何でも作っているんですが、例えばムスリム対応のカレーを作ったりとか、パスタソースを卸したりとか、お弁当をイベント企画会社に卸したりとか、その中でも、100人の参加者のうち何人かはベジタリアンです、ビーガンですということがあるので、その方向けにお弁当をピンポイントで卸したりとか細かいこともやっています。

Q. これから将来、どんなことをやっていきたいというのがありますか。

A. 香川に限定すると、どんなに食べられるものが少ない人でも、どのホテルや飲食店でも注文できる食べ物が1つでもある状態を作りたいです。また、日本では1年間に、香川県の人口と同じぐらいの人口が減っていて、労働力不足が今まで以上に深刻化するので、仕込みの代行を通して、全国の飲食店の労働力不足を解消したいと考えています。

Q. 事業の内容を教えてください。

A. 今、気候変動など、食品にとってネガティブなことがたくさんあるんですが、そんな中、「冷やす」技術が200年くらい変わっていないことに着目し、冷気をあてて冷やすのではなく、熱を抜いて冷やすことを実現しました。

Q. 今回の冷凍フルーツも、風味、食感、香りを変わず楽しめる。このヒントもそこにあるのでしょうか。

A. 冷やす定義を変えました。従来は、冷たい冷気をモノに当てて、外側からだんだん冷えて氷ができるんですが、私たちの技術では、モノを入れるとそこから熱が移動して、温度が下がっていくという真逆の発想になっています。

Q. 熱を移動させる、そういうことをやってみようと思ったきっかけは何でしょうか。

A. 食品の劣化ということが、世の中の働き方だったり、保存料や添加物などネガティブなものを生み出しているんで、そこが少しでも長くもてば、人の働き方もモノの動きも変わるなんて思って開発しました。

Q. 未来の社会にどのように役立てていきたいと思えますか。

A. 冷凍では多くのエネルギーが使われていますが、それが品質維持に繋がっているかという点、まだまだ適材適所ではなく、余分なエネルギーが使われているので、そこを平均化して、不要な電力消費をなくしていきたいと思えます。

②1 (株) XEN GROUP 高畑さん



Q. 漫才コンビのお二人に来ていただいています。二者面談の邑地先生と吉嶋さんです。

A. 高校1年生と教員で漫才コンビをやらしてもらっています。県からスタートアップ漫才という無茶な注文が入りましたが、よろしくお願いします。今、M-1グランプリに出てまして、3回戦以上を目指しています。(邑地)

Q. 結成した理由は。

A. 私が新しいことを始めたいと思ったときに、お笑いの経験がある先生を誘って始めたという軽いノリです。(吉嶋)

A. 甘やかしたらいかんということで、初舞台をM-1の1回戦にしたんですけど、ナイスアマチュア賞というのを取ったので動画で拡散されてしまったので、引くに引けなくなったところなんです。(邑地)

Q. 二人のお話をお聞きできたので、学校の紹介をお願いします。

A. 「新しい“答え”を創り出す場所」というコンセプトを去年作りまして、どんどん新しいことをやっていこうと。Z世代、α世代と言われるスマホやSNSが生まれたときからあるような子たちが大人になっていくにあたって、いまままで通りの教育でホンマにいいのかと、考え直すべき時期じゃないのかと。教育が変わらないのは会議ばかりやっていて、実行しないまま次の年度に行ってしまうのが原因とあって、まず会議より先にやってみて、やってみてから会議していいものを残していこうという運動をしています。(邑地)

②2 大手前高松中学・高等学校 邑地先生、吉嶋さん(二者面談)



②高松商業高等学校 生徒の皆さん



Q. 学校では、どういったことをされているのでしょうか。

A. 高松商業高校では、石田高校や農業経営高校と協力して、廃棄されたキウイを使ったキウイマドレーヌを商品開発しています。

Q. おいしそうですが、このマドレーヌはどんな特徴がありますか。

A. 石田高校さんでキウイを栽培されているが、出荷できないものを使って農業経営高校さんでジャムにしてもらって、高松商業高校でキウイのマドレーヌにしており、地域連携、高校連携でやらせてもらっています。

Q. 学校のPRをお願いします。

A. 高松商業はスポーツが強いイメージがあると思いますが、文化部も強くて面白い部活があるので、よろしくお祈いします。ブースでキウイマドレーヌを250円で販売しているので、よろしくお祈いします。

Q. 起業部の活動内容を教えてください。

A. 起業部は、プレイヤーとクリエイターという2つのチームに分かれて、起業したり、起業をサポートしたりする人たちが集まって、自己実現を図るサークルとです。

Q. 起業部からこれまでどんな事業が立ち上がったんでしょうか。

A. 今は2つで、過去には先輩方も含めると10以上の事業が立ち上がっています。例えばガス検知の会社もあれば、採用関係の会社、推薦入試の塾などがあります。

Q. 会場の皆さんにPRしたいことはありますか。

A. 香川大学起業部では、月に1回ほど、県内の企業さんと交流会、バーベキューなどを開催して交流を深めていますので、よろしければ参加をお願いします。

④香川大学起業部 藤澤さん



Q. どういった事業をされているのでしょうか。

A. 私たちは百十四銀行が100%出資して設立されたファンドの運営会社です。このたび、10月1日付でベンチャーファンドを立ち上げることになりました。これから起業される方、起業された方にファンドから資金を提供していきます。

Q. 今まさに起業されている方に役立ちますね。

A. 香川県内のみならず、瀬戸内圏、いろいろな方に資金的なご支援、経営支援をしていきたいと考えています。

Q. 強みやポイントはありますか。

A. 私たちのバックボーンは銀行ですので、事業計画の作成や課題の解決といったところで幅広い支援ができると考えています。

Q. 会場の皆さまにメッセージはありますか。

A. ファンドの名称は、「114GENNAIイノベーションファンド」と名付けました。香川県が生んだ平賀源内先生にあやかって名前を付けています。これから起業される方、次の平賀源内を生み出すお手伝いをしたいと考えていますので、よろしくお祈いします。

※新設ベンチャーファンドのご紹介

百十四共創投資(株)

多田代表取締役社長



② (株) Timers 三神さん



Q. 事業の内容を教えてください。

A. 「Famm AIリクルーティング」というAIを活用した採用支援サービスを提供しています。香川県の企業でも新卒採用を支援しており、高い評価を頂いています。今日は香川県の企業を支援したいと思い東京からやってきました。

Q. AIでの採用ということですが、こういったところが強みでしょうか。

A. スカウト業務、日程調整、面接等、業務コストがかかりやすい業務をAIを活用して効率化を行うと、従来比4倍ぐらいのスピードで対応できます。地方の企業では、なかなか応募が集まらないという課題が一番強いので、応募自体を獲得するような戦略策定から運用代行まで、一気通貫でできることが強みとなっています。

Q. この事業を立ち上げたきっかけや想いはこういったところでしょうか。

A. 少子高齢化が進み、5年後、10年後はより採用が難しくなります。採用には、実は事業を運営するあらゆるスキルが必要です。私たちは、1000社以上のBPO支援先を持っており、採用に必要な全てのスキルをワンストップで提供できます。他にそういうことができる企業が見当たらなかったため、自分たちがやるべき、とサービスを立ち上げました。

Q. 事業の内容を教えてください。

A. 私たちは業務委託人材を展開する「HiPro」というブランドを展開しています。「HiPro」では、業務委託人材、フリーランス、副業人材などに出会うことができるマッチングサービスをスタートアップ向けに展開しています。

Q. 業務委託事業ということですが、どのような職種とマッチングができるのでしょうか。

A. あらゆる職種がありますが、経営人材、COOやCFOを担える人材に多く登録いただいているところが強みです。

Q. お客様からの声で嬉しいものってありますか。

A. 最初、お客様からは「本当にいろんな人材いるの？」とよく言われますが、使っていただく中で「こんなにすごい人が業務委託人材で登録しているんだね」ということで嬉しいお言葉をいただいています。

Q. この事業でどんな未来の社会を作っていきたいですか。

A. スタートアップの立ち上げ直後は、人材面で困りの企業が多くいます。そういった企業を支援をさせていただいて、人材で困ることがないような状態を作っていきたいと考えています。

② パーソルキャリア (株) 松井さん



Q. 事業の内容を教えてください。

A. 日本に住んでいる外国人の皆さまの採用から、採用後の定着まで、アプリで支援しています。具体的には2つアプリがありまして、1つは外国人採用支援のアプリです。2つめは、入社した後に、コミュニケーションが上手く取れず定着しないという企業さんの悩みに対して、「KUROFUNEPASSPORT」という、法律上やらないといけない支援業務だけではなく、チャット機能、同行機能を通じて、長く定着して活躍できるようなアプリを作っています。

Q. アプリで行うことで、こういったことが便利になるのでしょうか。

A. 同行機能は非常に好評です。外国人1人で病院に行くのは大変で、このアプリで、何月何日にこの病院に来てほしい依頼すると、我々の支援スタッフがその時間に駆けつけるというサービスを提供しています。そういった支援を通じて彼らの生活をサポートをしています。

Q. この事業でどのような未来の社会を作っていきたいですか。

A. 我々は令和版の黒船として、日本を開国していきたいと思っていて、外国人の皆さんは日本で困ることがたくさんあると思いますし、雇用する企業も困ることがたくさんあります。そういったことを解消しながら、もっともっと日本が魅力的な国になるよう、黒船として、日本を開国していきたいと考えています。

② KUROFUNEPASSPORT (株) 倉片さん



② (株) ちゅうぎんキャピタルパートナーズ

中西さん



Q. スタートアップ支援の取組みについて教えてください。

A. 岡山県の中国銀行のグループ会社として、投資を通じてスタートアップの皆さまのサポートを行っています。

Q. どういったお客さんがいらっしゃるのでしょうか。

A. 主にはスタートアップの企業様、事業承継に課題がある企業様、地域活性化、まちづくりといったテーマを持って投資を行っています。

Q. ご来場の皆さまに向けてPRしたいことはありますか。

A. 私たちは投資を通じてスタートアップの皆様を応援しているんですが、地域の皆様と一緒に連携してアクセラレーションであったりイベントをしたりしていますので、一緒できればと思います。

Q. スタートアップ支援の今後のビジョンを教えてください。

A. 地方銀行のグループ会社として投資を行っていますが、地域をより良くするサービスなど、一緒に何か連携して地域の皆さまのためになるものを作って、地域を盛り上げていきたいと考えています。

Q. 事業の内容を教えてください。

A. 香川県で埋め立て処分されている産業廃棄物の廃瓦を、100%リサイクルして、再生瓦チップを開発しました。

Q. 再生瓦チップはどういったものでしょうか。

A. 優れた機能がありまして、保水性、透水性、敷設すると防草効果があったり、保水性があるのでヒートアイランド対策にもなるといった、沢山の機能をもった環境にやさしい製品です。

Q. こちらの事業で、どのような未来の社会を作っていきたいですか。

A. 昨年、解体工事業に参入しまして、香川県の産業廃棄物の処分費用がとても高いことに驚き、費用をどうにか安くしたいという思いからこの事業を立ち上げました。これから空き家はどんどん増えていきますが、永光としてはリサイクルをきっかけに解体工事費用を安くしたいという想いで頑張っています。

Q. お客様からどのような声をいただいていますか。

A. 解体工事にあたり屋根の廃瓦を無償で引き受けており、その分、処分費用が浮きますので、喜んでいただいています。

③ (株) 永光 家門さん



④ 末澤緑地 (株) The PARK 川井さん



Q. 事業の内容を教えてください。

A. もともと造園業をしている末澤緑地という会社ですが、数年前にThe PARKという観葉植物のお店を始めました。その中で、お祝いなどで観葉植物をお持ちした際に、管理に困っているという話をお聞きしたので、法人向けの観葉植物のサブスクリプションを始めさせていただくこととなりました。

Q. 観葉植物のサブスクリプション、これはどんなことができるのでしょうか。

A. 当社にある観葉植物をだいたい5鉢から10鉢ほど提供させていただき、毎月専門のスタッフが店舗、企業を訪問して管理させていただきます。お客様自身はお水の管理のみで、緑の状態が保てるサービスを提供しています。

Q. この事業を通じてどのような未来の社会を作っていきたいですか。

A. オフィス環境に緑を常に提供でき、担当するスタッフさんの作業の軽減に繋がればと思っています。

③(有)鎌野鉄工所 鎌野さん



Q. 事業の内容を教えてください。

A. 高松市で鉄工所をしていますが、水中に興味を持ち、水中ドローンを事業もやっています。日本水中ドローン協会の傘下として認定いただき、スクールも運営しています。

Q. 水中ドローンということで、どんな映像が取れるのでしょうか。

A. 水の中でも、結構クリアに見えます。濁っているところは水中ソナーがあり、音波で形を見つける、そこを狙って写真を撮るといってもできますし、濁っているところでもある程度クリアに映ります。

Q. どのような依頼が多いのでしょうか。

A. 多いのは工事や、いけすの点検などです。漁師さんが高齢化していて、潜るのが寒いときなどに、いけすの網が破れていないかを確認する点検の需要があります。

Q. 映像提供だけでなく、作業にも役立つんですね。メッセージをお願いします。

A. 水中ドローンは認知度が低く、知らない人も多いと思いますが、ブースで映像を流しているのでお立ち寄りください。

③四国経済産業局新事業推進課 窪田さん

Q. スタートアップ支援の取組みを教えてください。

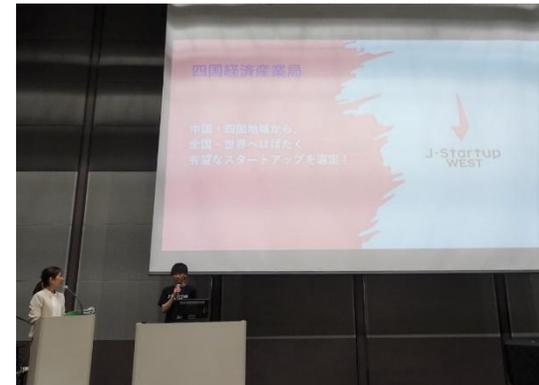
A. 四国経済産業局では、中国経済産業局と連携し、スタートアップエコシステム強化を目的に、「J-Startup WEST」を運営しています。J-Startup WESTは中国・四国地域の有望なスタートアップを選定し、集中支援するプログラムです。

Q. どんなふうに活躍してほしいと思っていますか。

A. 最終的には世界に伍するような企業に成長してくれると嬉しいなと思っていますし、中国地域、四国地域においては、地域の課題があるので、地域課題解決に資するような企業になってほしいと思います。

Q. 今後のビジョンを教えてください。

A. J-Startup WESTの名前を使ってもらい、いろんなところで露出し、大きく成長してほしいと考えています。現在、9月12日から10月の24日でJ-Startup WESTの第3次選定の募集を行っています。中国、四国地方に本社または主要な事業所を設けられている方々、奮って応募いただければと思いますので、よろしくお願いします。



③岡山市創業支援雇用推進課 木村さん



Q. スタートアップの皆さんにどのような支援を行っているのでしょうか。

A. 「ももスタ」というところで、年間140回以上の起業にまつわるイベントや、事業成長を目指す短期集中プログラム、中高生向けの起業体験プログラムなどを行っています。

Q. これからのビジョンを教えてください。

A. 岡山、地方だからできないとか、都会に行かないとできないという状況を少しでもなくして、岡山や瀬戸内エリアからチャレンジする方を応援する土壌を作っていきたいと思っています。

Q. どのような分野に進まれる方が多いのでしょうか。

A. 岡山の特徴として、幅広い方がいらっしゃって、特定の領域はあまりないんですが、スタートアップだけではなく、地元の金融機関、企業、学生など、いろんな方が集まるハブになっていますので、より機能を強化していきたいです。

Q. ここからどのような未来の社会を作っていきたいですか。

A. いろんな方がチャレンジを諦めることのないように、みんなで応援するような場所にしていきたいと考えています。

③⑤Setouchi-i-Base 山口さん



Q. どのような支援を行っているのでしょうか。

A. Setouchi-i-Baseは、コワーキング、コラーニングスペースを併設したオープンイノベーション拠点です。デジタル人材の育成の講座や、創業の支援、イベントやセミナーを通じて、皆さまのチャレンジを応援する施設です。また、われわれコーディネーターという専任のスタッフがいて、ビジネスマッチングなどの支援をしています。

Q. 一番の強みはこういったところでしょうか。

A. 利用者の幅が広く、高校生から、起業を目指す学生、資格勉強をしたい社会人、組織に貢献したい企業の方、経営者の方、そういった様々な方が集まっていることが一番の強みだと思います。

Q. これを支えるスタッフの方もいろんな方がいるのでしょうか。

A. 様々なバックグラウンドを持ったコーディネーターが常駐しています。ITに詳しい者や、現役のフリーランス、WEBマーケティング、中小企業診断士など、幅広いメンバーで皆様の活動のご支援をさせていただいています。

Q. 今後のビジョンを教えてください。

A. 今年度は、ビジネスのアイデアの種を持った方の発掘、育成に力を入れてきました。後期は、企業の方への学びの機会の提供や、事業成長支援プログラム「Booster Garage」が始まりますので、是非、参画いただければと思います。

Q. 産業技術センターとは、どんな組織なのでしょうか。

A. 高松市郷東町と小豆島の発酵食品研究所の2箇所があり、1つ目は技術相談や技術協力、2つ目は試験分析、依頼試験、施設利用、3つ目は研究開発の3本柱で、県内企業の新技術・新分野進出や新製品の開発を支援する組織です。

Q. 力を入れている事業はどのようなものなのでしょうか。

A. 1つ目は、脱炭素に関する事業です。省エネに関する事業や、新素材、高機能素材、製造プロセスの高度化を支援することで、脱炭素に関する企業の課題の支援を行っています。2つ目はデジタルデータを活用したものづくりやデジタルデータを用いた技能伝承を支援する事業、3つ目は最近はやりの製造現場の自動化、省力化、スマート化を支援する事業、4つ目は食の多様化、県産農作物であったり未利用資源、機能性表示食品の商品開発を支援する事業、最後に小豆島にある醤油、佃煮、そうめん、オリーブオイルの商品開発や人材育成、オリーブオイルの分析などで小豆島の地場産業を盛上げていこうという事業、以上5つの事業を行っています。

③⑦香川県産業技術センター 新名さん

